

活動報告

■ 東大・長岡技科大「夏の勉強会」

よりみち街道『中越』クラブ

(2008. 08. 08)



東京大学・長岡技術科学大学合同の夏期セミナーが「震災復興と持続可能な地域おこしを考える」のテーマのもと、8月4日(月)~6日(水)の3日間開催され、よりみち街道『中越』クラブも共催として支援しました。

参加したのは、東大大学院の家田仁教授、長岡技大の佐野可寸志准教授らの研究室に所属する中国や東南アジアからの留学生を含む学生や先生方約40名です。

1日目は、中越地震の被災地として山古志を視察、木箒の水没集落や復興住宅などを見て回り、震災のDVDを視聴、青木山古志支所長からお話頂きました。夜は、宿泊・研究の場となる、川口町旧田麦山小学校に入り、田麦山のお母さん方につくって頂いた夕食のカレーや漬け物を味わった後、地元の方々と夜がふけるまで交流を深めました。

2日目は、学生が6グループに分かれ、「小千谷中心市街地の実態」「小千谷縮など伝統工芸産業への震災の影響」「震災義援金の使われ方」「十日町トリエンナーレによる地域興し」「雁木を活かした街づくり」「過疎地域の交通」の各テーマに沿って現地調査を実施。翌日の発表に備え、レポートのまとめ。夜遅くまで頑張った？ようです。

3日目は、宿泊や食事などの支援いただいた地元の方々への感謝を含め、旧田麦山小敷地内の草取りなどボランティア活動に汗。川口やな場のあゆ飯で空腹を満たし、いよいよ勉強会の成果である、調査レポートを発表。地元の方々も交え、熱心に意見交換が行われました。最後に全員で後片付けをしてから、それぞれ帰途に。皆の満足した表情が、充実した3日間を物語っていました。

今回の勉強会の実施にあたり、田麦山地区の方々、クラブ会員のおぢや元気プロジェクトの皆さんから絶大なご協力をいただき、無事に終えることが出来ました。
この場を借りて、感謝申し上げます！